

STOP! 熱中症

令和2年5月～9月



クールワークキャンペーン



— 熱中症予防対策の徹底を図りましょう —

職場における熱中症で亡くなる人は、2010年から2019年までの10年間、全国で200人以上にのぼり、毎年400人以上が4日以上仕事を休んでいます。

●実施期間：令和2年5月1日から9月30日まで（準備期間令和2年4月、重点取組期間令和2年7月）



「熱中症」とは高温多湿な環境下で体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻するなどして発症する障害を総称した傷病で、重篤な場合死に至る恐ろしい傷病です。

福岡県下の熱中症の発生状況の推移（平成22年～31年）

22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年
24	20 (1)	17 (1)	35 (1)	9	13 (1)	30 (2)	42	64	30 (1)

熱中症による休業4日以上死傷者数（人）の推移（平成22年～31年）

() 内の数値は死亡者数であり、死傷者数の内数

熱中症を防ぐには、まず自分の体調を良く把握することはもちろんのこと、働く環境がどうい状態なのかを把握する必要があり、その環境に順化することが重要です。

環境の把握に有効な手段が暑さ指数（WBGT値）の活用です。

WBGT値を計算するのは大変ですが、WBGT測定器を使うと簡単に暑さ指数を計測できます。

WBGT測定器を活用して
熱中症を予防しましょう！

WBGT値は毎日環境省が、



測定器は（JIS B 7922）に適合したものを準備しましょう。

「環境省熱中症予防情報サイト」の中で（WBGT）暑さ指数を公表しています。詳しくは、<http://www.wbgt.env.go.jp/> を参照ください。

WBGT値はあくまで働く環境の状態を示すものです、労働者自身の体調は熱中症の発症に大きくかかわってきます。

深酒や睡眠不足を避け、体調不良の時は躊躇せず、上司や同僚にその旨伝えておきましょう。

裏面の「マスク着用時における熱中症対応について」もご確認ください！

重要

異常時の措置

～少しでも異変を感じたら～

- ・作業を離れ、身体を冷やす
- ・一人きりにせず、状態を見守る
- ・必要に応じて救急車を要請する



厚生労働省・福岡労働局・労働基準監督署



(R.2.5)

マスク着用時における熱中症対応について

今年には新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにマスクを着用したまま業務を行うことが想定されます。

外出機会が減ることで、暑さに身体が慣れていない人も多いことから、職場での熱中症予防を徹底するとともに、万一熱中症の初期症状が現れても、速やかに対応できる対策を講じておくことが肝要です。

マスクを着用して行う業務については、各事業場の規模や業態、作業環境などにより違いはあるものの、

「マスクを着用することで、通常より口の周りの湿度が上がり、熱がこもって体温が高くなりやすくなる。」

との指摘があります。

よって、本年は今まで以上に徹底した熱中症予防対策につとめていただく必要があります。

下記の参考事項を確認いただき、適切な予防対策を講じてください。

記

- ・体のだるさや暑さを感じる前に、定期的かつ早めに日陰等（マスクをはずせるような環境が望ましい）の涼しい場所で休憩できるように休憩場所を確保しておきましょう。
- ・休憩回数を今までより多くとれるように作業計画を立てましょう。また、休憩場所が密にならないように広めの場所を確保していただくよう配慮をお願いします。
- ・水分の補給について、労働者が喉の渇きを訴えなくても、定期的かつ早めにしっかりとれるように準備をしておきましょう。また、とくに普段の業務と異なる作業等を行わせる労働者に対しては、異変等がないか注意を払いましょう。
- ・通常より暑さに対する適応（温度順化）が遅れていると思われる労働者については、徐々に体が慣れるように一定の配慮（段階的に作業時間を延ばしていく等）のうえ作業させましょう。

